



発行所 医療法人凌雲会・社会福祉法人凌雲福祉会/板野郡藍住町笠木字西野50-1/☎(088)692-5757

厚生労働省「平成26年度人生の最終段階における医療体制整備事業」のモデル医療機関(全国10ヶ所)の1件に 私達の病院が採択されました！

この事業の概要等について、厚生労働省ホームページより抜粋して紹介します。

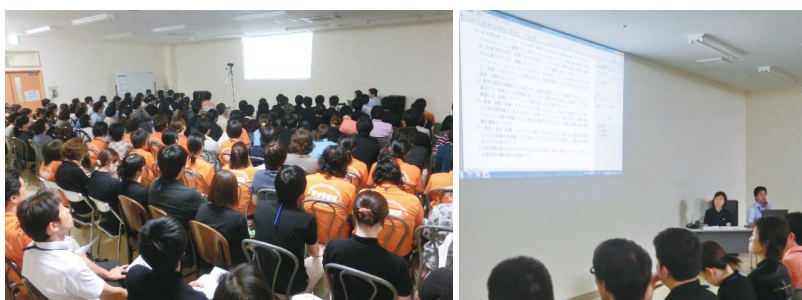
【背景・課題】

- 人生の最終段階における医療について、医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされた上で、患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本として、進めることが重要
- このため、平成19年に「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」をまとめ、周知を図っているが、在宅医療提供者に十分周知されているとは言えない状況である中(※)、人生の最終段階における医療に係るより充実した体制整備が強く求められている。

※平成24年度人生の最終段階における医療における意識調査

【事業の概要】

- 患者の意思を尊重した人生の最終段階における医療を実現するため、モデル医療機関(10ヶ所)において、患者の人生の最終段階における医療などに関する相談に乗り、必要に応じて関係者の調整を行う相談員の配置や、困難事例の相談などを行うための複数の専門家からなる委員会の設置などの事業を実施。
- モデル事業の成果をもとに、人生の最終段階における医療に係る適切な体制のあり方を検討。



国立長寿医療研究センターが行った相談員研修を受講した高橋、岩藤により、事業の概要の説明を職員に対して行いました。写真は研修の様です。研修後は人生の最終段階における医療について事前に意思を伝えておく「事前指定書」を作成しました。

今後、「平成26年度人生の最終段階における医療体制整備事業」を推進する具体的なことは次の通りです。

① 相談支援の実施

- ・国立長寿医療研究センターが行った人生の最終段階における医療についての相談員研修会を受講した者を中心とした医療ケアチームが、患者様からの相談に応じるとともに、必要に応じて関係者の調整を行います。

② 研修会の実施

- ・国立長寿医療研究センターが行った人生の最終段階における医療についての相談員研修会の内容を本地域の医療機関の関係者等に対して実施します。
- ・人生の最終段階における医療について、地域住民への啓発活動を行うための「地域サロンカフェ」開設を実施します。
- ・人生の最終段階における医療への支援に必要な「事前指定書」の書き方の研修を実施します。

認知症サポーターになろう！

10年前の2004年12月、国は「痴呆」という呼び名を「認知症」に改め、多くの人々に認知症が正しく理解され、また認知症の方が安心して暮らせる町がつくられていくよう普及啓発のための「認知症サポーターキャラバン」事業をスタートさせました。

現在、全国で540万人を超えた方がこのサポーター養成講座を受講しています。徳島県では、22,000人（全国受講者数割合41位）です。当グループでは、この養成講座の講師役として活躍できる「認知症キャラバンメイト」が11名在籍しています。皆様の企業や、自治会、老人クラブ、学校やPTA等で養成講座を担当させていただくよう準備ができております。出張講座いたしますので気軽にお声かけください。（1回1時間程度）

法人管理部 部長 仁木 敦志



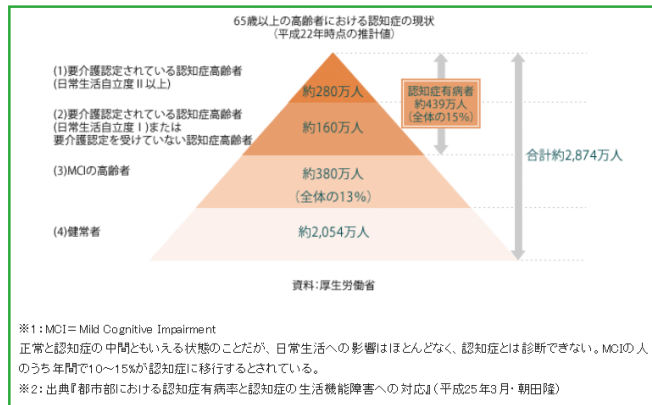
料金：無料

電話：088-692-9955 グループホーム親の家 福富（ふくとみ）

◀認知症サポーターに渡される
オレンジリング

凌雲グループの認知症に対応するサービス

グループホーム親の家
小規模多機能ホーム親の家
小規模多機能ホーム第2藍
デイサービス藍
昇入所・昇通所リハビリテーション事業所
（認知症短期集中リハビリ）



参考1) 高齢化の進展とともに、認知症の人数も増加しています。65歳以上の高齢者では、平成22年度の時点で、7人に1人程度とされています。

参考2) 徳島県長寿保険課記者発表記事より（平成26.10.27）
認知症高齢者の増加（4人に1人以上が認知症若しくはその予備軍で、県内には約6万人と推計）
認知症若しくはその疑いでの行方不明届出が全国で1万件超（県内は91件）

アートフラワーを飾っています



昨年より病院玄関でレイアウトしていますアートフラワーは、欧米ではインテリアの基本アイテムとして定着しています。生花は限られた時間しか提供できませんが、枯れることのないこれら「アート」としての造花たちは、長時間そのグレードを保ったまま目を楽しませてくれます。

これからも、その季節その時期に合ったアートフラワーが皆様をおもてなしできると思います。

稲次整形外科病院 事務長 浦山 和生



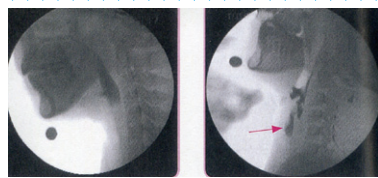


シリーズ Vol.13

知っておくと得をするリハビリの話 — 嚥下造影検査（VF検査）のご案内 —



稲次整形外科病院
リハビリテーション部 村口 史也



嚥下造影（以下VF）検査とは、飲み込みにくさ、食べにくさの原因を調べる検査です。飲んだり食べたりにくくなると、気管に食物が入ったり、栄養失調・

脱水になり体力が落ちて肺炎にかかりやすくなります。これらの原因になる症状を明らかにしようとするのがVF検査です。VF検査ではレントゲン撮影をしながら、バリウムを混ぜたゼリーやジュースを飲んでいただきます。この検査により、食べやすい食事形態・食事時の姿勢・トロミの必要性等がわかります。VF検査は次のような症状のある方にお勧めしています。

① 食べ物が「飲み込みにくい」

と感じる

② 「飲み込む時」や「飲み込んだ後」にむせる

③ 食べた後に声を出すと「ゴロゴロ」と痰の絡んだような音が聞こえる

④ 飲み込んだ後も「口の中やのど」に食べ物が残っている「気がする」

検査を希望される方は事前に医師による診察が必要です。診察後に検査日の調整・予約を行います。検査自体20〜30分程度で終了します。

VF検査の費用としましては、1割負担の方は480円、3割負担の方は1,420円となっております。それぞれの料金に診察料が加わります。

右のような症状がみられる方は一度VF検査を受けてみてはどうでしょうか。

当院言語聴覚士への飲み込みVF室についての相談も随時受け付けております。



シリーズ Vol.13

介護保険サービスの紹介 — 介護保険におけるリハビリについて —



県指定居宅介護支援事業所
ケアマネジャー 大和 恭子

リハビリは、介護保険のリハビリと医療保険のリハビリがあります。

医療保険のリハビリは、外来や入院など病院で行うリハビリが多く、疾病別に日数制限があり、長期にわたってのリハビリが難しいのが現状です。

介護保険でのリハビリは、介護認定を受けている方が受けられるリハビリで、医療保険と比べ長期のリハビリには介護保険の方が向いています。

介護保険のリハビリは大きく分けて訪問、通所、入所の3つがあります。

訪問リハビリは、ご自宅で受けるリハビリです。通所リハビリ（デイケア）と通所介護（デイサービス）は、通いでリハビリを受け、同時に入浴、食事、排泄等の介護サービスを受けることができます。3つめが施設

に入所してリハビリを行う方法です。

介護保険のリハビリの特徴として、在宅生活が安全に継続できるような生活に沿ったりリハビリを実施しています。日常生活上の行動である、入浴、食事、排泄等の行動訓練を行うことにより、生活機能の向上を図り介護や支援無しでの自立した生活を送ることができるようになることを目的として行っています。

注意点として基本的に、医療保険のリハビリと介護保険のリハビリ（通所リハビリ・入所リハビリ・訪問リハビリ等）は同時に受けることができません。

介護保険のリハビリのご利用をお考えの方は、介護支援専門員（ケアマネジャー）へご相談下さい。



藍寿苑活動報告



特別養護老人ホーム 藍寿苑
施設長 萩原 浩貴

この4月から藍住町の指定管理による運営を開始しました藍寿苑です。早いもので運営開始から9カ月が経過しました。入所者のみなさん、スタッフも少しずつではありますが新しい環境に慣れてきており、スタート当初は開催できていなかった行事なども定期的に実施するようになってきましたのでみなさんに報告をさせていただきます。

10月に入所者45名の方々と職員18名の参加で実施した『藍寿苑大遠足会』は、お弁当をもってイルローザの森(神山森林公園)へ行ってきました。ここ最近遠出の外出行事が少なかった入所者の方々も、車中では、「このあたり懐かしいなあ」とか「若いころは神山まで来たよった」など話も盛り上がり、いつもは少食の方もお弁当を完食するなど同行した職員が驚かされる場面が沢山



ありました。また森林公園内でのレクリエーションもこれまで一番盛り上がったイベントになり、参加された入所者の方の笑顔は、今でも忘れることができません。

またこれまで藍寿苑としては実施していなかった敬老会を初めて開催させていただきました。最高齢99歳の方の表彰、記念品贈呈、海鮮ちらし寿司などの行事食を当日ご参加いただいたご家族の方々と一緒に召上がりいただきました。記念イベントとして人形浄瑠璃をご覧いただいた際には、感激のあまり涙を流す方が沢山いらっしゃいました。



このような大きなイベントだけでなく、動物ふれあい体験、買い物行事や、富吉獅子保存会の皆さんによる獅子舞訪問など、地域の方々との交流行事なども開催してきました。

これからも、できるだけ入所者の皆さんが喜んでいただけるような行事を開催しながら、平成28年4月の新施設開設に向けて準備をしていきたいと思っております。



シリーズ Vol.3

◆ 凌雲グループ障がい者サービス部門事業の紹介 ◆ ★ 凌雲ヘルパーステーション(訪問介護) ★



凌雲ヘルパーステーション
黒崎 順子

【事業の目的】

在宅で身体に障がいや難病のある方の居宅にお伺いして日常生活または社会生活が行えるように、生活全般にわたる援助を行っています。

生活援助…掃除、洗濯、一般的な調理、買物、薬の受け取りなど。

【ご利用いただける方】
・障害者総合支援法に基づく受給者証や地域生活支援事業の利用者証をお持ちの方。
・ソーシャルワーカーを通じての利用相談や事務所への直接相談。

通院介助…(知的)障害児(者)の通院の介助
同行援護…視覚に障害がある方の通院介助、社会参加や散歩の介助など。

【ご利用いただける事業】
居宅介護 同行援護 重度訪問介護 移動支援事業があります。

【地域支援の受給者証を持っている方のサービス内容】
移動支援…全身性障害の車椅子利用の方、知的障害のある方の手引きや車椅子利用での介助。

【サービス対象エリア】
藍住町、板野町、北島町、上板町、松茂町、鳴門市、徳島市

訪問入浴…自宅の浴槽での入浴が困難な方、清拭・シャワー浴だけでなく浴槽入浴での体の保清を行う。

【ソーシャルワーカーの個別支援計画に沿って提供するサービスの内容】
身体介護…排泄介助、食事介助、入浴、移動・移乗介助、服薬介助など身体の状態に合わせて

藍住町を中心に近隣の市町村の利用者宅に必要な時間帯や曜日に訪問しニーズにあったサービスを提供できるよう頑張っています。



など身体の状態に合わせて



藍住町を中心に近隣の市町村の利用者宅に必要な時間帯や曜日に訪問しニーズにあったサービスを提供できるよう頑張っています。

100歳を迎えられました！



8月3日に100歳の誕生日を迎えられました。親の家に平成21年3月に入居され、入居当時は車椅子での生活でしたが、現在はシルバーカーを押されるまでに元気になりました。若い頃は、東京の洋裁の専門学校に通われ、結婚されてからは神戸で生活されていました。東京では忠犬ハチ公を直接ご覧になられた事もあるとおっしゃっていました。



櫻野 百合子 様
大正3年8月3日 生

今は、調理の手伝いもして下さり、味付けの味見をしていただくと「ちょうどいいなあ。美味しいなあ。」などアドバイスもして下さいます。これからも元気で長生きして下さい。グループホーム親の家 田川 真紀



後藤 ヨシエ 様
大正3年12月13日 生

いつも前向きで明るく、エネルギーに溢れています。今でも週3回のリハビリに行くのを楽しみにされています。若い頃は、一生懸命に働き、子供の為に手編みのセーター、着物を縫ってあげていたそうです。70歳を過ぎて、ゲートボール、お花、旅行、手芸、詩吟等、多くの趣味を持たれています。中でも詩吟は師範代の腕前です。

職員が帰る時には、「気い付けて帰りなよ、おかあさんに甘えて来なよ」と優しく声をかけて下さいます。そんなヨシエさんの周りには、いつも笑顔がいっぱいです。

これからも益々お元気でいて下さい。グループホーム親の家 妹尾 礼子

ちびっこ園 シリーズ Vol.8



★誕生会の紹介★



誕生日は子どもたちが生まれた大切な日。ちびっこ園では、毎月生まれた月ごとに子どもたちの誕生日をみんなで祝いしています。

大きい子は、自分の誕生月になると、「もうすぐお誕生会？」と、まだかまだかと待っている子どもたち。月によっては誕生児が多いこともありますが、一人ひとりの誕生児



パースデーケーキ

いる時は、どの子も本当に嬉しそうな表情を見せてくれ、私たちお祝いしている方も幸せな気持ちにさせてくれます。誕生会後半には保育者からのプレゼントとして、毎回いろいろな出し物をしています。マジックショーにパネルシアター、パペットシアターなど、子どもたちに喜んでもらえるよう工夫し行っています。



パネルシアター

の子が主役になるよう紹介は1人ずつ行っています。名前、誕生日、身長体重、家族や保育者からのメッセージが読み上げられると、どんなに小さい0歳児の子どもたちでもジーンと話を聞き、微笑む瞬間があります。また、お友達から誕生カードを渡してもらったり、ケーキにろうそくを立て、みんなに囲まれてハッピーバースディの歌をうたってもらって

子どもたちの反応がいい時は嬉しいですが、何よりも子どもたちが誕生日を元気に迎えられることが、私たち保育者の一番の喜びです。



パペットシアター

子どもの時には嬉しかった誕生日。私たち大人は歳をとるのを素直に喜ばなくなってきましたが、何歳になっても誕生日をお祝いしてもらうのは嬉しいものですね。

ちびっこ園 武田 千寿

四国霊場八十八カ所巡り お砂踏み

平成26年11月13日、昴にて、四国霊場88カ所巡りお砂踏みが行われました。当日は11月としては、とても寒く、風の強い日で、こんな日もお大師さんは巡業していたのかと思われました。今回お世話して下さる、2番札所極楽寺、6番札所安楽寺、17番札所井戸寺の副住職さん、3名が来所されました。4枚の屏風に各県の札所のご本尊さんが飾られ、その前には、毛氈の下に各札所のお砂が敷き詰められていました。そして、そのお砂を踏みしめながら、お参りをし、最後にお大師さんをお参りすれば、四国88カ所霊場会より、お砂踏み御守を頂けるということでした。まず初めに、般若心経を唱え、手を清めても

らい、お参りしました。一番最初が、徳島県、次に高知県、その次に愛媛県、最後に香川県と巡りました。



利用者のみなさんは、肅々と並び、参拝しました。職員も一緒に参拝させていただきました。総勢199名が巡ることができました。

その間、待つてる利用者に対して、副住職さんが順番に心温まる法話をして下さり、本当に副住職さんたちの優しいお心に頭が下がる思いがしました。四国霊場開創1200年という記念すべき年に巡ることができ、感謝の思いで一杯になりました。お世話して下さいました四国88カ所霊場会青年部の皆様、ありがとうございました。

老人保健施設昴

施設長

秋山 郁恵



障害者国体 銅メダルおめでとう !!



H26年11月に開催された第14回障害者スポーツ大会において老人保健施設昴通所リハビリテーション(以下：通所リハ)利用者の中林 正明さんが見事銅メダルという快挙を成し遂げました。

この大会は障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加の推進を図ることを目的とした障害者スポーツの全国的な祭典です。大会は3日間の会期で開催され、全国から都道府県・指定都市の選手団約5,500人が参加し、個人競技6競技、団体競技7競技の13競技及びオープン競技が実施されます。



中林さんはソフトボール投げに出場しました。大会出場までには通所リハご利用中に天気の良い日はリハスタッフと共に屋外で遠投の練習

や筋トレに励んできました。努力家なのはもちろん、どうすればより遠くに飛ばせられるか日々切磋琢磨される姿は職員も見習わなくてはならないことが多かったように思います。また、奥様が終始介護を行っており仲睦まじい様子も伺えました。現在も色々な競技に参加されており今後もより一層の活躍を期待しています。

通所リハではリハビリの一環で生活に直結した取り組みもリハ・介護スタッフが連携を取り行っています。ぜひ中林さんのようにアスリート人生を送ってみませんか??



老人保健施設昴
課長 西山 修平



シリーズ Vol.10

シリーズ 知恵袋

この冬を暖かく乗り切る工夫



第2 凌雲ヘルパーステーション 主任 阿部 松子

朝夕めつきり寒くなり、外に出ると思わず肩をすぼめてしまいますね。こんな時の為に、少しでも寒さをしのぐための工夫を紹介したいと思います。

《3つの首でからだの冷えを解消》

【首】 ハイネックやタートルネックを着たり、ネックウオーマーやスカーフを襟元に巻くだけでも暖かく過ごせます。特に首回りは、血流が悪くなりやすいので、暖める事によって血流が良くなり肩こりの解消にもなります。

【手首】 袖カバーやリストバンド、手首ウオーマーがお勧めです。

【足首】 靴下を重ね履きするよりも、お勧めはやはりレッグウオーマーです。一度使い始めると手離せません。



これらは皮膚が薄いので、外から暖めると血流が良くなり全体が冷えるのを防いでくれます。つまり、冷え対策は「血行が大事」という事です。

《冬野菜を食べて体の中から温める》

体が温まる冬野菜の代表として、にんじん・大根・じゃがいもなどの根菜類があります。これらは、体の冷えを防ぎ体温を上げる効果を持っています。根菜類を沢山使ったお味噌汁はいかが？他に、ねぎや生姜も効果的です。



《冬でも水分補給を》

冬場でも水分補給をしないと循環が鈍り体が冷えてしまうそうです。それを防ぐためにも暖かい飲み物などで適度な水分補給を心掛けて下さい。紅茶生姜はいかがでしょうか？



外出する時は3つの首をしつかり暖めて、帰宅後はうがい・手洗い・水分補給。これで、この冬は暖かく過ごせるでしょう。

海外研修レポート H26.9.22-29

オランダ・ドイツ

オランダ・ドイツのリハビリセンター、老人ホーム、リハケア2014を視察してきました。

まずオランダは国を挙げて認知症対策に取り組んでおり、リハビリテーションの観点からもチェーンケアやマントルケアの考え方が印象的でした。

ドイツにおいては自立支援と介護予防を意識してリハビリ後、退院後の支援が充実しているが印象的でした。視察を通じて高齢者の方々がリハビリを楽しく、自主的にそして実用的な内容で取り組まれていることに日本とのリハビリテーションの意識の差を感じました。高齢化対策はどの国においても最重要課題となっています。その中でも日本は高齢化率が1歩先を行っています。これからのリハビリテーションのあり方を再度考えるいい機会となりました。

視察以外でもミューラー美術館、ケルン大聖堂、ライン川、ブンデスリーガーの試合観戦と余暇時間も楽しめ充実した7日間でした。

今回の視察研修を生かして当施設の質向上に貢献出来ればと思っています。快く視察へ送り出して頂いた理事長を始め凌雲グループの皆様へ感謝申し上げます。



老人保健施設 課長 西山 修平

私の個人的な感想としては施設環境や福祉の制度に小さな違いはあり、充実していましたがそれでも日本とさほど大きな違いは感じられませんでした。

しかし、福祉機器展では日本では見た事が無い様な楽しく使えるように進化している福祉機器・用具がたくさん展示販売されていました。その中にはスポーツやアクティビティを楽しむための機器・用具が小さなものから大掛かりな物まで多種多様であり実際に車椅子に乗って体験し、本当に必要な人が必要な物を検討・改良する事ができていました。身体が不自由だからと言う理由で部屋にこもりがちになるのではなく部屋の中でも、外に出ても楽しいと思える事に参加出来る環境がありました。もちろん環境だけがあるのではなく実際に参加する方の強い意欲を感じ、尚且つそこにさりげなくサポートする人がたくさん居ました。日本でも最近は身体が不自由な方が参加できるスポーツやアクティビティは増えています。それでもまだまだ制約が多いと感じます。もっと誰もが楽しめる環境が作れるように私たちも一緒に新しいことに挑戦していきたいと思える海外研修になりました。



障がい者デイセンター凌雲 主任 万代 美鈴



まつ毛のお話

世の女性達(中には男性もいらっしゃいますが)は魅力的な目元を演出するために、まつ毛をより太く、長く見せる努力をしています。マスカラを塗ったり、自分で付けまつ毛を付けたり、専門店でエクステンション(自分のまつ毛1本1本に、人工まつ毛の束を付けていく方法)をしてもらったり、等々。美の探求には時に思わぬ代償があることも。接着剤で皮膚がかぶれたり、人工まつ毛が取れて、目を傷つけてしまったりすることがあるようです。

今年の10月に、以前から話題となっていた医療用まつ毛外用液(グラッシュビスタ®)が国内で認可発売されました。緑内障治療の点眼薬に含まれるピマトプロストという成分に、まつ毛を伸ばす効果があることが分かり、それが商品化されたのです。

通常まつ毛は約1か月で生え変わりますが、この成分により生え変わりの期間が長くなり、毛が



長く、太く、より濃く育つようです。

皆さんにご提供する前に、効果や副作用などの有無を身を持って知る為、マスカラなんか使ってもいない私ですが、試してみることにしました。一日1回就寝前に、上まぶたのまつ毛の生え際に液体を塗布します。写真は自然なままの私の短い、まばらなまつ毛。つい塗るのを忘れて寝てしまい、連日塗布は難しい状況ですが、これが2か月後にどう変わるのか、次回のいなほで結果を発表します。乞うご期待下さい!?

(注意: まだ当院ではこの薬の処方はしておりません。)

稲次整形外科病院 形成外科専門医
日本レーザー医学会専門医
高瀬 真記

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございます

- ・中西 真人様ご家族よりご寄付頂きました。 ・吉田マサ子様ご家族より大正琴をご寄贈頂きました。
- ・「小さな親切」運動徳島県本部より障がい者デイセンターに車いす1台をご寄贈頂きました。

公益財団法人 みずほ福祉助成財団様より、就労支援センターハーモニーに「製菓用急速冷凍機の製備」として、金1,200,000円ご助成頂きました。



凌雲グループ
スタッフの

♪ご結婚・ご出産おめでとございます♪

▼ご結婚 H26年7月～H26年11月分 ▼ご出産

H26/9/8	木村 敬弘さん	病院リハビリ部	H26/7/3	女児	橋本 美紀さん	医事課
H26/10/5	井内 亮太さん	病院リハビリ部	H26/8/3	女児	中倉 亮さん	凌雲デイ
	葉月さん (旧姓: 瀧本)	病院看護部	H26/8/25	男児	村口 史也さん	病院リハビリ部
H26/11/2	中内 達也さん	放射線科	H26/9/1	男児	篠原 可江さん	医事課
H26/11/9	磨野 由吏さん (旧姓: 藤川)	病院看護部	H26/11/28	女児	藤本 貴美さん	医事課



新入職員紹介 平成26年8月～11月まで

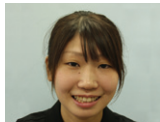
医療法人 凌雲会



病院 医事課
山田 亜紀



病院 准看護師
谷 恵美子



病院 看護師
松野 恵里子



病院 看護師
河野 里沙



病院 看護師
森 あきこ



病院 介護職員
飯坂 仁紀



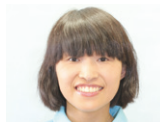
昂通所リハ
佐々木 勝啓



デイ 昂 介護職員
山本 広美



ショート 昂 社会福祉士
武知 孝典



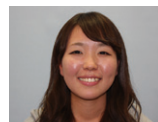
デイ 昂 介護職員
成瀬 多栄



小規模
多機能ホーム
親の家
板東 恵美子



小規模
多機能ホーム
親の家
仁木 由香



小規模
多機能ホーム
親の家
林 真子

社会福祉法人 凌雲福祉会



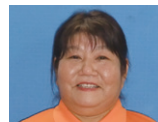
凌雲デイ 介護職員
新居 和代



凌雲デイ 介護職員
数本 奈緒



訪問看護 看護師
田中 紀子



凌雲ヘルパー 訪問介護員
笹田 玲子



第2凌雲ヘルパー 介護職員
赤澤 真由美



第2凌雲ヘルパー 介護職員
谷 和人



デイ 藍 介護職員
生田 幸代



障がいデイ 介護職員
黒田 史子



ハーモニー 職業指導員
鶴丹谷 道代



ハーモニー 職業指導員
濱垣 亜実



ハーモニー 職業指導員
安喜 仁洋

編集後記

病院の改修工事につきましては、ご迷惑をおかけしております。

今年もあと少しですね。心も体も暖かくして、頑張らしましょう！
メリークリスマス！
広報委員 平石 英明

